尚志高3年ぶり優勝

郡山サッカーフェス

3年ぶりの優勝を飾った尚志高

第37回郡山サッカーフェスティバル高校生後期の部最終日は4日、郡山市の尚志高など5会場で順位トーナメントが行われ、1位トーナメントでは尚志高が3年ぶりの優勝を果たした。郡山サッカー協会、福島民友新聞社、読売新聞東京本社、福島中央テレビの主催、郡山市、同市教委の共催。

1位トーナメント決勝は尚志と習志野（千葉）が激突。0―0で迎えた後半、ゴール前の混戦で尚志のFW浜田健太郎（3年）の放ったヘディングシュートが相手選手に当たり、そのまま決勝ゴールとなった。

表彰式では大木重雄郡山サッカー協会会長から両校の選手に、賞状やトロフィーが贈られた。

◇1位トーナメント（尚志高）
▽準決勝
尚志 2（1-0-0）0 市立柏（千葉）
習志野 1（0-1-1）1 富岡（PK4-3）
▽決勝
尚志 1（0-0-0）0 習志野

◇2位トーナメント（西部スポーツ広場）
▽準決勝
日大山形 1（1-0-1）1 宮城県工（PK4-2）
利府（宮城） 5（2-0-3）0 米沢中央（山形）
▽決勝
利府 3（2-0-1）0 日大山形

◇3位トーナメント（郡山北工高）
▽準決勝
モンテディオ山形 0（0-0-0）0 第一学院（茨城）（PK4-3）
郡山北工 1（1-0-0）0 東京学館（千葉）
▽決勝
郡山北工 1（1-0-1）1 モンテディオ山形（PK4-3）

◇4位トーナメント（郡山高）
▽準決勝
郡山 1（1-0-0）0 帝京長岡（新潟）
新潟東 2（2-0-0）0 郡山商
▽決勝
郡山 0（0-0-0）0 新潟東（PK4-2）

◇5位トーナメント（安積高）
▽準決勝
花巻東 4（2-1-0）1 帝京安積（岩手）
東京成徳（東京） 3（2-1-0）1 安積
▽決勝
東京成徳 1（1-0-0）0 花巻東

【尚志―習志野】右手にハンデを抱えながら懸命にプレーする尚志の浜田㊧＝尚志高

けがに負けず 浜田が決勝点

⚽…両チームとも得点を決められずに迎えた後半、右手骨折というハンデを抱えた尚志のFW浜田健太郎（3年）が均衡を破った。

1月に念願のトップチームへ昇格したが、2月に右手を痛めた。「手術して練習を休むくらいなら、このままプレーする」。がむしゃらにゴールを狙う執念が実を結んだ決勝点だった。

仲村浩二監督は「けがを恐れぬ泥臭いプレーはチームに良い刺激」と評価する。「みんなの気持ちが一つになって得点できた」。ひたむきな浜田のプレーが14日からのプリンスリーグに向けてチームを勢いづける。